

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

中江勝利をバネに

さらなる飛躍を

5.14祝勝会 盛大に開催

中江選挙闘争は、六カ月間にわたる各支部組合員の総力をあげた闘いによつて、第四位・三八九六票という圧倒的勝利をかちとりました。こうした闘いの勝利は、激動の八〇年代を闘いぬくにあたつての正しい路線と、これを継承発展させる組織の団結力にほかなりません。動労千葉は五月一四日、三田浜楽園ホテルにおいて、「中江選挙闘争勝利・祝勝会」を開催し、中江選挙闘争の勝利を祝うとともに、この闘いの勝利を突破口にさらなる飛躍を実現するための意志一致をかちとりました。

総合・労組選対が 勝利の総括会議

祝勝会は動労千葉組合員をはじめ、支持者、船橋市民の会、推薦労組の組合員など二三〇名が参加する中で、冒頭、吉岡執行委員 より、「前段に開催された総合選対・労組選対総括会議において、四年後を目指し本日新たな出発点としてがんばることを確認して、両選対会議を解散しました」との報告をうけて始まりました。



組合員・支持者の方々へのお礼を述べ、中江新市議を激励する関川委員長

最初に中江選挙闘争の陣頭指揮をとられた、太田総合選対委員長がたち、「予想もしなかつた優秀な成績で当選できたことは、みなさんの御支援のたまものです。選挙は当選した日がスタートといわれるように、今後みなさんの御支援で次回も当選したい」との報告をうけて始まりました。

最初に中江選挙闘争の陣頭指揮をとられた、太田総合選対委員長がたち、「予想もしなかつた優秀な成績で当選できたことは、みなさんの御支援のたまものです。選挙は当選した日がスタートといわれるように、今後みなさんの御支援で次回も当選したい」との報告をうけて始まりました。

最先頭で闘った

関川委員長と市民の会 山本さんが決意表明

動労千葉を代表してあいさつにたった関川委員長は、「船橋には組合員も少ないし、当初大変なことを引き受けたと思つたが、やると決めたら最後まで頑張ろうと中江さんを先頭に『反核・護憲』を訴えて闘つてきた結果、三八九六票を獲得しました。動労千葉流の選挙をやつたので、大変なお骨折りと御迷惑をかけたと思いますが、当選の喜びに免じて許していただきたい」とのお礼のことばを述べました。

つづいて昨年の十月二五日に「船橋市民の会」を結成して以降、選挙戦に大きな力を発揮した市民の会を代表して山本さんは、「いろいろなことを経験し、学び、すばらしい闘いをやりきつて今胸が一杯です。今後、中曾根と対決する草の根運動を



つくらねばとの重圧を感じています。中江さんが市議会で活動するためとの決意を述べられました。

先頭にたつて闘う

中江市議が決意表明

最後に、満場の拍手を受けて中江昌夫市議がたち、「亡き菅井長七氏のとを受けて立候補し、船橋の、『平和都市宣言』の実現と、市民が市政に直接参加する青空集会の開催の二つをかかげて闘つてきました。船橋は革新が後退しましたが、三八九六票の重みで挽回し、みなさんの御支援をうけてがんばつていきたい。いまこそ一人一人がたちあがらねばならないときです。私はその先頭にたつて闘う決意です」と、感謝の意をこめた決意を表明しました。

全通船橋支部・荒木副支部長の音頭で乾杯し、第二部に移りました。

関特執の司会のもと、南葛一般、日立精機、湯浅電池、大阪運輸、臨海鉄道などの推薦労組代表、俳人伊藤白潮氏、歌手新谷のり子さんからあいさつをうけました。

カラオケによる熱唱を聴き、酒をくみかわしながら、会場のあちこちで選挙戦をかちぬいた思い出話に花をさかせていました。

祝勝会は、国労・本吉副委員長の音頭で団結がんばろうを三唱して成功裏に終了しました。



長かった苦勞もふつとぶ、勝利の美酒